

21世紀COEプログラム「巨大都市建築ストックの賦活・更新技術育成」
「BSA2007 建築ストック賦活・更新会議 2007」開催について

首都大学東京建築学専攻では、平成15年度、「巨大都市建築ストックの賦活・更新技術育成」が世界最高水準の研究教育拠点の形成を目指した国の重点的支援策である「21世紀COEプログラム」に採択され、4年半に渡りプロジェクト実施連携研究に取り組んできました。今年度に本研究プログラムが最終年度を迎えるにあたり、世界中の建築ストックの賦活・更新に関する研究やプロジェクトについて、最新の成果を共有する国際会議「建築ストック賦活・更新会議 2007 (Building Stock Activation 2007:BSA2007)」を以下のとおり開催します。

- 1 日時 2007年11月5日(月)～8日(木)
- 2 会場 東京国際フォーラム(東京都千代田区丸の内3-5-1)
- 3 主催 首都大学東京大学院 都市環境科学研究科 建築学専攻
首都大学東京大学院 都市建築ストック賦活・更新研究センター(4-Met センター)
建築研究国際協議会(CIB)

4 プログラム・講演者等

別紙リーフレットのとおりに。

国際会議 website: <http://www.simul-conf.com/bsa2007/>

※なお、この国際会議には、主に国内外の建築学の研究者等の参加が予定されています。参加登録の方法や費用等については、上記URLからwebサイトをご覧になるか、別添リーフレット下部に記載の会議事務局へお問い合わせください。

※ただし、報道関係の方の参加については、当該プレスに関する問い合わせと同様、下記問い合わせ先までご連絡ください。

---建築ストック賦活更新の研究テーマ---

- 建築・都市の賦活更新デザイン
- 建築・都市の賦活更新技術
- 建築・都市の賦活更新に求められる構造・構法
- 賦活更新のマネジメント手法
- 賦活更新の費用と効能
- 賦活更新のための新たな材料技術
- 環境的影響を考慮した建築・都市の賦活更新
- 建築・都市の賦活更新における利用者参加
- 都市の賦活更新のための政策
- アダプタブル・ビルディングの論理と技術
- 建築・都市の賦活更新の実例



本研究プログラムにおいて建設した
団地型集合住宅増設用エレベーター

〔問い合わせ先〕

首都大学東京大学院 建築学専攻 都市建築ストック賦活更新研究センター (4-Met Center)
042-670-8608 (直通)

(参考)

「巨大都市建築ストックの賦活・更新技術育成」の概要

20世紀後半に蓄積された、大都市の多量かつ多様な建築物のストックについて、具体的な建築物を対象とするプロジェクト実施連携研究を展開し、**既存ストックを活かしつつ機能を高める総合的技術を開拓**します。また、その技術を担う、専門性と包括的実践性を兼ね備えた人材を育成します。

本プロジェクトは平成15年度分の「21世紀COEプログラム」に採択され、**大学の使命である大都市の課題解決に資するもの**でもあります。

詳細は <http://www.4-met.org/> をご覧ください。

「21世紀COEプログラム」とは

21世紀COEプログラムは、「大学の構造改革の方針」（平成13年6月）に基づき、平成14年度から文部科学省に新規事業として「研究拠点形成費補助金」が措置されたものです。

我が国の大学が、世界トップレベルの大学と伍して教育及び研究活動を行っていくためには、第三者評価に基づく競争原理により競争的環境を一層醸成し、国公私を通じた大学間の競い合いがより活発に行われることが重要です。このプログラムは、我が国の大学に世界最高水準の研究教育拠点を形成し、研究水準の向上と世界をリードする創造的な人材育成を図るため、重点的な支援を行い、もって、国際競争力のある個性輝く大学づくりを推進することを目的としています。

詳細は <http://www.jsps.go.jp/j-21coe/> をご覧ください。

Building Stock Activation 2007

建築ストック賦活・更新会議 2007

2007年11月5日～8日

東京国際フォーラム

参加登録 URL : <http://www.simul-conf.com/bsa2007/>



主催



- 首都大学東京 都市環境科学研究科 建築学専攻
- 首都大学東京 都市建築ストック賦活・更新研究センター (4-Met センター)
- 建築研究国際協議会 (CIB)

後援
(英字順)

(社) 日本建築学会、(独) 建築研究所、日本地震工学会、(社) 日本コンクリート工学協会、
日本建築仕上学会、(社) 日本鋼構造協会、日本太陽エネルギー学会、(社) 日本都市計画学会、
(社) 空気調和・衛生工学会、東京都、(独) 都市再生機構

主旨

20世紀後半に、東京をはじめとする世界の都市では、建築ストックがその質を急速に変化させながら飛躍的に増加し、この過程で、建築ストックのスクラップ・アンド・ビルドが繰り返されてきました。しかし、地球環境の持続可能性、年を経た建築物の価値、持続的居住の重要性といった観点から、古い建築物の建て替えは、もはや必ずしも合理的な選択ではありません。一方で、社会と技術の急速な変化・発展に伴い、既存の建築ストックと現在のニーズとの乖離も発生しています。そこで、現存するものを効果的に活用する「建築ストックの賦活」という概念が、ますます重要になっています。このことに鑑み、本国際会議は、世界中の建築ストックの賦活・更新に関する研究やプロジェクトについての、最新の成果の発表を通じて、持続可能な建築と都市の新たな将来像を創造することを目的としています。

スケジュール

5日(月)

オープニングセッション、
基調講演、研究発表、
首都大学東京COEセッション・
パネルディスカッション、
ウェルカム・パーティー

キーノート・スピーカー、パネリスト、モデレータ

5日(月) 基調講演 フリッツ・シュープリン オランダ アイントホーフン工科大学 教授
デオ・ブラサド オーストラリア ニューサウスウェールズ大学 教授

首都大学東京COEパネルディスカッション

モデレータ 南 一誠 日本 芝浦工業大学 教授
パネリスト ニコラ・ビュシュー フランス クリシー市
デオ・ブラサド オーストラリア ニューサウスウェールズ大学 教授

6日(火)

基調講演、研究発表、
懇親夕食会(オプション)

6日(火) 基調講演 青木 茂 日本 株式会社青木茂建築工房 代表取締役

7日(水)

研究発表、
賦活・更新パネルディスカッション、
クロージングセッション(表彰式)、
フェアウェル・パーティー

7日(水) 賦活・更新パネルディスカッション

モデレータ スティーブン・ケンドール 米国 ボールステイト大学 教授
パネリスト 葛 海瑛 中国 株式会社日本設計 上海連絡事務所 副所長
フリッツ・シュープリン オランダ アイントホーフン工科大学 教授
ジア・ベイジ 香港 香港大学 准教授

8日(木) テクニカル・ビジット(埼玉県川越市における建築ストック賦活事例の実踏調査)(オプション)

問合せ先

事務局：(株) サイマル・インターナショナル内
〒104-0045 中央区築地1-12-6 築地えとビル5階
TEL : 03-3524-3133 FAX : 03-3524-3135
E-mail : bsa2007@simul.co.jp

Secretariat : c/o Simul International, Inc.
Tsukiji Eto Bldg., 5F, 1-12-6 Tsukiji, Chuo-ku, Tokyo 104-0045 Japan
Phone : 03-3524-3133 Fax : 03-3524-3135
E-mail : bsa2007@simul.co.jp